

戦後民主主義の全面的崩壊と日本の危機

1. 新型コロナ PANDEMIC が浮き彫りにした日本の決定的問題点

- (1) 危機管理体制の欠如（無能でオバカな政治）
- (2) 市場原理主義政策と行政の劣化・弱体化（政府＋自治体）
- (3) セイフティネットがボロボロ（医療・公衆衛生、失業保険、生活保護他）
- (4) サプライチェーンの脆弱性（最も懸念されるのは食料とエネルギー）
- (5) カジノ資本主義に振り回される日本経済

2. 「1930年代現象」：日本の全面的危機を赤裸々に示した 2020 東京都知事選挙

- (1) 経済的困窮の蓄積（現代資本主義の矛盾再顕在化と新しい階級の形成：市場原理主義）
- (2) 既存政治勢力の無能・無力・腐敗墮落（1990年代初頭の似非政治改革の成れの果て）
- (3) 新興デマゴグ勢力の台頭（「新宗教」「維新」[N国]「減税」「都民F」その他＊）
- (4) 大衆社会病理の極限化（政治的アパシー ⇒ 社会的アノミー ⇒ フェイク社会・判断力欠如 ⇒ 自由からの逃走と新ファシズム台頭の危険性, ネポティズム・クローニー）

（三無主義：無気力・無関心・無責任、新三無主義：無力・無能・無内容）

* 大阪都構想の住民投票がもう一つの「分水嶺」

3. 克服されない「悪しき伝統」

- (1) 半封建主義・儒教的発想
- (2) 事大主義
- (3) 「井の中の蛙」的（似非）ナショナリズムと排外主義
- (4) 市場原理主義アホダラ教
- (5) （上）頂点同調主義・（横）強烈同調圧力・（下）無限の無責任と責任転嫁

4. 安倍政権長期化の背景＝オルタナティブを担う政治勢力が形成されない

- (1) 立憲民主党・国民民主党・社会民主党
- (2) 日本共産党
- (3) 山本太郎「れいわ新選組」
- (4) 緑の党
- (5) 市民運動・社会運動・政治運動（いつまでたっても「タコツボ」）
- (6) リベラル・左派の有識者&大学教授たち
- (7) マスゴミ
- (8) 司法・裁判所

5. 自公・維新のデタラメ政治を矯正する以外にもたくさんの課題が「棚上げ状態」

- (1) 安倍政権及びそれ以前のデタラメ立法の一括廃棄、金融政策のアンwind
- (2) 税制の抜本的改革（消費税廃止・奢侈品物品税、法人・所得税改正（累進課税強化・総合課税他）、タックスヘイブン退治、非居住者国内源泉所得課税、マルサ他）

- (3) 対米隷属外交の一掃と安全保障政策（「思考停止」状態をどうするか）
- (4) 脱原発・エネルギー革命（危険かつ大変かつ一刻の猶予もない）
- (5) 人口減少社会への対応（まちづくりや公共事業・インフラ再整備や防災他）
- (6) 東京一極集中の解消と第二次地方分権改革
- (7) ロスジェネ世代救済のためのNND（地方振興公社・公務員増員・公共サービス
拡充・民間技術力蓄積・伝統文化の継承・FEC自給圏他）
- (8) 社会保障制度の持続可能性や労働法制の適正化（生きること・働くことの質向上）
- (9) 新経済発展計画と反貧困・反衰退（イノベーションよりもリノベーション）
- (10) TPP、日欧EPA、日豪FTA、日米FTA、WTOへの対応（脱出対策）
- (11) 司法・検察の第二次民主化（抜本的改革のための荒治療が必要）
- (12) 個人情報保護法制の確立と監視社会の克服（個人情報主権）
- (13) カジノ資本主義からの脱却と新世界経済秩序（含フェアトレード、新WTO他）
- (14) 「新しい民主主義」＝公職選挙法・政治資金規正法・贈収賄禁止法の抜本改正
（選挙運動自由化、供託金、企業団体献金禁止、選挙制度、国民投票法、あっせん利得法
他）、直接民主主義取入（住民投票・国民投票、リコール、住民提案制度、NPO/NGO 参画
他）、情報公開・公文書管理、オンブズマン制度他
- (15) 霞が関改革（幹部総入替、経産省・内閣府解体、人事制度、外部人材、オプスマン他）、

6. 故丸山真男氏の政治論・政治分析の今日的意義

天皇制・軍国主義分析、永久革命としての民主主義、現実主義の陥穽、祭祀国家論他

7. 現代資本主義を超えて

- (1) 「資本」と「主義」（単なる市場経済体制（全面的商品再生産社会）ではない）
- (2) 生産の社会的性格と所有の私的性格との矛盾
- (3) 資本による労働力の包摂（形式的包摂、実質的包摂）
- (4) 社会主義への模索（生産と分配にかかる社会的合意形成の在り方）
- (5) パワーエリート、超監視・管理社会、情報格差、AIとスーパーシティ・労働現場

8. 人類や地球を脅かす5つの危機：「支配権力による科学の包摂」

- (1) 2つの核（原子核：核兵器＋原発）
- (2) 2つの核（細胞核：遺伝子操作・バイオテクノロジー）
- (3) 化学物質の氾濫
- (4) 熱帯雨林の破壊、シベリア冷帯・寒帯林の破壊 ⇒ 未知ウィルスの氾濫他
- (5) （地球温暖化？）（酸性化）

似非科学 VS 市民科学＝21世紀は「環境の世紀」（20世紀は「戦争と革命の世紀」）

9. 改革主体の形成

カギは「階級的利害の覚醒とそれを政治的行動に結びつける怒り（情念）& 智恵」
政治運動・政治闘争と市民運動・社会運動との違い：「スターリンのミニブタ」